

国語Ⅲ の基礎・基本

1. 細目数

	分類	A	B	C	細目数計
3学年 (2単位)	現代文	5	2	2	9
	古文	5	3	1	9
細目数計		10	5	3	18

2. 分類とそれらの内容

1 / 1

分類	項目	細目	理解すべき内容	区分
現代文	評論	語彙	文中に用いられている漢字・語句を正しく読み書きし、またその意味が理解できる。	A
		読解	段落ごとに筆者の論旨の展開を追うことで、筆者の意見を理解できる。	A
		論理の展開	評論文の論理の組み立て及び展開が理解できる。	B
		日本文化論	作者の主張を通し、日本文化についての理解を深め、自分の考えを持つことができる。	C
		言語論	日本語にとどまらず、我々の生活に必要な不可欠な言語について、その概念を正しく認識し、自分の考えを持つことができる。	C
	小説	文学史	作者についての正しい知識を前提に、作品の成立した背景を十分に理解し、文学史上の位置づけを知ることができる。	A
		語彙	文中に用いられている漢字・語句を正しく読み書きし、その意味が理解できる。	A
		読解	小説特有の表現を踏まえ、人物・情景・心情などに注意しながら、作者の表現したい意図（主題）を理解することができる。	A
	鑑賞	文学作品としての構成や表現の特色をとらえ、行間からにじみ出てくる作品の世界を味わい、その文学的世界観を鑑賞することができる。	B	
古文	物語	文学史	物語の種類をふまえ、作者及び作品の文学史上の価値・位置づけを理解できる。	A
		語彙・語法	古語の意味及び、古文特有の表現及び、修辞法を理解することができる。	A
		文法	助動詞の活用及び意味に注意して、文章を解釈できる。	A
		解釈	敬語表現に注意し、人物関係や物語の内容を理解できる。	A
		古典常識	作品をとおして、当時の人々の生活・文化・風習を理解することができる。	A
		観賞	物語の世界観を理解し、物語文学の面白さを味わうことができる。	B
	評論	文学史	評論文及びその作者の文学史上の位置付けを確認し、その価値を理解できる。	B
		文学論	評論文に見られる批判的精神に基づく文学論を理解することができる。	B
		日本文化論	作品を通し、日本の文化に対する理解を深め、自分の考えを持つことができる。	C

政治経済の基礎・基本

1. 基礎・基本の項目数

	分野	A	B	C	項目数計
3 学年 (2 単位)	現代の政治	1 8	3	5	2 6
	現代の経済	1 5	8	3	2 6
	現代社会の諸課題	2	8	5	1 5
	項目数計	3 5	1 9	1 3	6 7

2. 項目とそれらの内容

1 / 4

分類	項目	細目	理解すべき内容	区分
現代の政治	民主政治の基本原則	政治とは何か	政治とはどのような活動であるか、民主主義とはどのような考え方であるかを理解することができる。	A
		近代国民国家における民主主義	民主主義を支える政治思想・政治原理を理解し、近代以降の民主主義の仕組みを理解することができる。	A
		政治体制のタイプ	世界各国の政治体制のうち、特に、イギリス・アメリカの政治体制を理解することができる。民主主義と社会主義の政治思想の相違、大衆民主主義の成立と展開を理解することができる。	B
		民主政治と法の支配の関係	民主政治の基本原則と法の支配の考え方を理解することができる。	A
	立憲主義と日本国憲法の基本原理	日本における立憲主義の成立	立憲主義の思想を理解した上で、日本の立憲主義の成立と展開を理解することができる。	A
		日本国憲法の基本原理	日本国憲法の制定の経緯を踏まえた上で、日本国憲法を支える基本原則を理解することができる。	A
	日本の民主政治のしくみ	国会	国権の最高機関としての国会の機能と権限を理解することができる。	A
		内閣	内閣の有する行政権の意義を理解し、内閣と国会の関係を理解することができる。	A
		裁判所	裁判所の有する司法権とその独立の意義、違憲審査権について理解することができる。	A
		平和主義	日本国憲法の定める平和主義の意義、憲法第9条をめぐる法律問題を理解し、憲法における平和主義のあり方について自己の見解が持てるようになる。	A
	基本的人権の保障	基本的人権の概念	基本的人権とは何かを理解し、法の下での平等について、具体的事例を通して、現実の問題となっていることを理解することができる。また、人権の制約原理についても理解することができる。	A
		国家からの自由	人身の自由、精神的自由、経済的自由についてそれぞれの意義を理解し、具体的事例をとおして、現代の自由権についての問題を理解することができる。	A
		国家による自由	20世紀の人権としての社会権成立の背景、社会権の具体的内容について理解することができる。	A
		新しい人権	新しい人権の意義、その主張の根拠、新しい人権として主張されている権利の具体的内容と法的問題について理解することができる。	A
	現代政治の実態	現代の政党政治	政党政治の意義、日本の政党政治の現状について理解することができる。	A
		選挙制度	選挙の意義を踏まえ、選挙制度、民主政治を実現するための選挙の基本原則、現代の選挙制度が抱える問題点を理解することができる。	A

分類	項目	細目	理解すべき内容	区分	
現代の政治	現代政治の実態	行政機能の拡大と問題	行政機能の肥大化の背景、行政を支える官僚制、現代行政国家の抱える諸問題を踏まえて、行政改革のあり方を考えることができる。	B	
		政治参加の手法	世論の形成について理解し、市民の政治参加の具体的手法を理解することができる。	C	
	国際政治のしくみと戦後の国際政治の動向	国際政治の特質	国際政治の意義、国際政治と国内政治の相違点、国際政治に働く政治理論、国際政治の主体の多様化について理解することができる。	A	
		二つの世界と第三世界	第二次世界大戦後の冷戦の動向、第三世界の台頭について理解することができる。	C	
		冷戦終結後の世界	冷戦終結後の国際政治の動向を理解することができる。	C	
	国際法と国際平和	国際法の形成と展開	国際法の形成と展開を理解することができる。	A	
		国家主権にかかわる国際法と現実の課題	海と空に関する国際法を通して、国家領域を理解するとともに、日本の領土に関する問題を認識し、解決の方法を考えることができる。	A	
		国際連合	国際連合成立の背景、集団安全保障体制の意義、国連の基本的な組織を理解することができる。	B	
		人権の国際的保障	国際条約を通して、人権保障の国際化の流れを理解することができる。	C	
		平和のための国際的取り組み	国際平和実現のための国連の諸活動を理解することができる。	C	
		現代の経済	現代経済のしくみ	経済活動の意義・経済主体とその結びつき	三つの経済主体とそれぞれの結びつき、経済活動における財・サービスの流れ、生産要素の流れ、資金の流れを理解することができる。
	国民所得と国富の概念			GDP、GNP、NNPを理解したうえで、国民所得の概念を理解する。また、国民所得の三面等価、フローとストックの概念、国富とは何かを理解することができる。	A
	市場経済における需要と供給の法則			市場経済における価格の意義、需要供給の法則について理解することができる。	A
市場経済における価格競争と資源配分	市場経済における価格競争と資源配分の関係、いわゆる三大市場について理解することができる。			A	
市場の失敗	市場の失敗の意義を理解することができる。			A	
外部不経済	外部不経済について、具体例を踏まえて理解することができる。			A	
公共財と市場の失敗	公共財の特質を踏まえ、公共財が市場取引になじまないことを理解することができる。			A	
規模の経済性	規模の経済性の概念について理解するとともに、寡占と独占、寡占市場の特性について理解することができる。			A	
企業の形態	企業の果たす役割、企業の形態、企業の資金調達の方法について理解することができる。			B	
企業と資本主義	株式会社制度の概要を踏まえ、資本主義経済と株式会社の関係を理解することができる。			B	
政府財政と税の構造	政府財政と税の関係、税の構造と機能、国民の税負担のしくみについて理解することができる。			A	
財政政策	景気調整手段としての財政政策、財政のビルトイン＝スタビライザー、政府債務の課題について理解することができる。			A	
資金の循環と金融	資金循環のしくみ、直接金融と間接金融の相違、通貨の意義、信用創造について理解することができる。			A	
中央銀行の機能と金融政策	中央銀行の機能と具体的な金融政策を理解することができる。	A			

分類	項目	細目	理解すべき内容	区分
現代の経済	現代経済のしくみ	経済活動の意義・経済主体とその結びつき	三つの経済主体とそれぞれの結びつき、経済活動における財・サービスの流れ、生産要素の流れ、資金の流れを理解することができる。	A
		国民所得と国富の概念	GDP、GNP、NNPを理解したうえで、国民所得の概念を理解する。また、国民所得の三面等価、フローとストックの概念、国富とは何かを理解することができる。	A
		市場経済における需要と供給の法則	市場経済における価格の意義、需要供給の法則について理解することができる。	A
		市場経済における価格競争と資源配分	市場経済における価格競争と資源配分の関係、いわゆる三大市場について理解することができる。	A
		市場の失敗	市場の失敗の意義を理解することができる。	A
		外部不経済	外部不経済について、具体例を踏まえて理解することができる。	A
		公共財と市場の失敗	公共財の特質を踏まえ、公共財が市場取引になじまないことを理解することができる。	A
		規模の経済性	規模の経済性の概念について理解するとともに、寡占と独占、寡占市場の特性について理解することができる。	A
		企業の形態	企業の果たす役割、企業の形態、企業の資金調達の方法について理解することができる。	B
		企業と資本主義	株式会社制度の概要を踏まえ、資本主義経済と株式会社の関係を理解することができる。	B
		政府財政と税の構造	政府財政と税の関係、税の構造と機能、国民の税負担のしくみについて理解することができる。	A
		財政政策	景気調整手段としての財政政策、財政のビルト＝イン＝スタビライザー、政府債務の課題について理解することができる。	A
		資金の循環と金融	資金循環のしくみ、直接金融と間接金融の相違、通貨の意義、信用創造について理解することができる。	A
	中央銀行の機能と金融政策	中央銀行の機能と具体的な金融政策を理解することができる。	A	
	世界経済と日本経済の動向	市場経済の発展	産業革命の意義、分業の進展による市場取引の拡大、技術革新と市場経済の関係について理解することができる。	B
		資本主義経済と社会主義経済	資本主義の意義と発展、資本主義経済の弱点、社会主義経済の主張の背景と特質を理解することができる。	B
		労使関係の制度	労働三法の意義、労働組合の果たす役割について理解することができる。	C
		景気変動	資本主義経済における景気変動と乗数効果、景気循環と経済成長の関係、景気と失業の関係、インフレーションとデフレーションの意義を理解することができる。	A
		戦後の日本経済の動向	戦後の経済改革、高度経済成長から石油ショック、日本経済のグローバル化の進展、バブル経済からその崩壊までの日本経済史の概要を理解することができる。	B
	国際経済のしくみ	貿易と国際分業	自由貿易主義と保護貿易主義を理解することができる。	B
		国際収支と為替レート	国際収支、為替レートと外国為替市場を理解することができる。	B
		戦後の国際金融システム	戦後の固定相場制度から変動為替相場制への移行、プラザ合意、発展途上国における累積債務問題と通貨危機を理解することができる。	C
		海外投資	海外投資の意義を理解することができる。	C
		経済のグローバル化	経済のグローバル化の現状を把握し、国際的な政策協調、地域的経済統合の広がりを理解することができる。	A

分類	項目	細目	理解すべき内容	区分
現代の経済	世界経済の課題と日本	南北問題	南北問題の意義を理解し、先進国の対応を理解することができる。	A
		世界経済における日本の果たす役割	世界経済における日本の果たすべき役割を考察することができる。	B
現代社会の諸課題	現代日本の政治経済	大きな政府と小さな政府	大きな政府と小さな政府の意義、行政改革のあり方を理解することができる。	A
		地方自治と地方政治	地方自治の理念、地方自治の基本的制度を理解することができる。	B
		社会保障制度	社会保障制度の重要性、その展開、日本の社会保障制度の現状を理解することができる。	C
		高度情報化社会と市民生活	高度情報化社会が市民生活にもたらす影響と問題点を理解することができる。	C
		中小企業問題	日本における産業構造の変化の中で、中小企業が果たす役割を理解することができる。	C
		労働市場の実態	現代社会における労働問題を概観し、労働市場の実態を理解することができる。	B
		消費者問題	現代経済における消費者の立場を踏まえ、消費者保護の必要性、その具体的制度について理解することができる。	B
		公害防止と環境保全	高度経済成長期の公害問題、都市問題、地球環境問題を理解し、環境保全への具体的な取り組みを考察することができる。	B
		農業と食糧問題	日本の食糧事情、食の安全についての意識の高まりを踏まえ、農業の自由化か、農業保護の強化かの問題を考察することができる。	B
		地球環境問題	地球環境問題の深刻化した現状を理解し、特に、地球温暖化防止に向けた世界的取り組みと日本の取り組みを理解することができる。	A
		核兵器と軍縮	軍縮の進展の背景、軍縮への具体的な取り組みを理解することができる。	C
		人種・民族問題	民族自決権の意義、冷戦終結後の国際社会の動向を踏まえ、人種・民族問題の本質を捉えることができる。	B
		経済格差の是正と国際協力	発展途上国の現状を理解し、国際経済協力の必要性を理解することができる。	B
		貿易摩擦と外交	経済摩擦の意義、経済摩擦の原因を理解することができる。	C
日本の立場と役割	経済大国として、平和主義を掲げた国として、国際社会への貢献のあり方を考察することができる。	B		

微積分学Ⅲ の基礎・基本

1. 細目数

	分類	A	B	C	細目数計
3 学年 (2 単位)	媒介変数表示と微分法	4	0	0	4
	1 変数積分の応用	7	2	0	9
	微分方程式	8	8	0	16
	関数の展開	9	3	1	13
細目数計		28	13	1	42

2. 分類とそれらの内容

1 / 2

分類	項目	細目	理解すべき内容	区分
媒介変数表示と微分	媒介変数表示と微分	媒介変数表示	媒介変数の意味が理解できる	A
			円、楕円、サイクロイドの媒介変数表示ができる	A
		媒介変数表示の関数の導関数	公式が理解できる	A
			円、楕円、サイクロイドの導関数が求められる	A
1 変数関数の応用	積分の応用	媒介変数表示	面積の計算ができる	A
			曲線の長さが計算できる	A
			回転体の表面積が計算できる	B
		極座標	動径、偏角の意味が理解できる	A
			直交座標との関係が理解できる	A
			面積が計算できる	A
		変化率と積分	速度、加速度と積分の関係が理解できる	A
			広義積分	定義が理解できる
微分方程式	1 階微分方程式	微分方程式の意味	階数、解の意味が理解できる	A
			微分方程式の解	一般解、特殊解、初期条件、境界条件の意味が理解できる
		特異解の意味が理解できる		B
		変数分離形		変数分離形が解ける
		同次形	同次多項式の意味が理解でき、同次形が解ける	B
		1 階線形微分方程式	斉次、非斉次の意味が理解できる	A
	定数変化法で解ける		A	
	2 階微分方程式	2 階線形微分方程式	ロンスキアンが計算でき、線形独立、線形従属の意味が理解できる	B
			斉次線形微分方程式の一般解の意味が理解できる	A
			非斉次線形微分方程式の一般解の意味が理解できる	A

分類	項目	細目	理解すべき内容	区分
微分方程式 (つづき)	2階微分方程式 (つづき)	定数係数斉次線形微分方程式	特性方程式が理解できて、解が求められる	A
		定数係数非斉次線形微分方程式	斉次の一般解を用いて、非斉次の解が求められる	B
		いろいろな線形微分方程式	連立線形微分方程式の解法が理解できる	B
			斉次線形微分方程式を定数変化法で解くことができる	B
			斉次線形微分方程式を級数法で解くことができる	B
		非線形2階微分方程式	次数を下げて解く方法が理解できる	B
関数の展開	関数の展開	多項式近似	1次近似式が求められる	A
			2次近似式が求められる	A
			n次近似式が理解できる	B
			ランダウの記号が理解できる	C
		極値の十分条件が理解できる	A	
	数列の極限	無限数列が収束することの意味が理解できる	A	
		収束、発散、振動の判定できる	A	
	級数	級数の収束・発散が判定でき、和が計算できる	A	
		べき級数とマクローリン展開	べき級数の定義が理解でき、その収束・発散が判定できる	A
			基本的な関数のマクローリン展開ができる	A
テイラー展開が理解できる			B	
オイラーの公式		オイラーの公式が理解できる	A	
		ド・モアブルの定理が理解できる	B	

注：授業の進捗状況により、一部内容を後期（微積分学Ⅳ）にまわすことがある。

微積分学Ⅳ の基礎・基本

1. 細目数

	分類	A	B	C	細目数計
3 学年 (2 単位)	偏微分	10	5	2	17
	重積分	5	4	1	10
細目数計		15	9	3	27

2. 分類とそれらの内容

1 / 2

分類	項目	細目	理解すべき内容	区分
偏微分	偏微分法	2 変数関数	独立変数、従属変数、定義域、値域、曲面の意味が理解できる	A
			平面上での極限値の求め方が理解できる	A
			連続の意味を理解し、連続・不連続の判定ができる	B
		偏導関数	偏微分可能、偏微分係数の意味が理解でき、計算できる	A
			2 変数の関数の例で偏微分が計算できる	A
		接平面	接平面の意味が理解でき、具体的な曲面で接平面が求められる	A
		全微分可能	全微分可能が理解でき、近似式が計算できる	B
	合成関数の微分法	2 変数の合成関数の微分法が理解でき、計算できること	A	
	偏微分の応用	高次偏導関数	2 次偏導関数が理解でき、計算できる	A
			2 変数の合成関数の微分法を用いて 2 次導関数が求められる	B
		多項式による近似	2 変数の場合の 1 次近似式が理解でき、計算できる	B
			2 変数の 2 次近似式が理解でき、計算できる	C
		極大・極小	極値の必要条件が理解でき、極値の候補が求められる	A
			極値の判定法を用い、極値が求められる	A
		陰関数の微分法	陰関数の微分ができ、曲面の接平面が求められる	A
		条件付極値問題	条件付き極値問題の解法が理解でき、実際の問題が解ける	B
		包絡線	包絡線が求められる	C

分類	項目	細目	理解すべき内容	区分
重積分	2重積分	2重積分の定義	2重積分の定義およびその性質が理解できる	A
		2重積分の計算	2重積分を累次積分で計算できる	A
			積分順序が交換できる	A
		変数変換と重積分	座標軸の回転が理解できる	B
			極座標変換を用いて2重積分が計算できる	A
			原点以外に中心を持つ円領域上の積分が計算できる	C
			ヤコビアンを用いて基本的な変数変換ができる	A
		広義積分	2変数の広義積分が理解でき、実際の関数で計算できる	B
		2重積分のいろいろな応用	一般的な曲面で曲面積が計算できる	B
			曲面の重心が理解でき、実際の曲面で重心が求められる	B

確率・統計 の基礎・基本

1. 細目数

		分 類	A	B	C	細目数計
3 学年 (2 単位)	確率		8	2	0	10
	データ整理		6	3	0	9
	確率分布		13	4	1	18
細 目 数 計			27	9	1	37

2. 分類とそれらの内容

1 / 2

分 類	項 目	細 目	理解すべき内容	区分
確率	確率の定義と性質	確率の定義	事象 A の起こる確率 $P(A)$ の定義を理解でき、確率の計算ができる	A
		統計的確率	統計的確率の意味が理解できる	A
		事象	いろいろな事象をベン図で理解できる	A
		確率の基本性質	確率の基本性質を理解できる	A
		確率の加法定理	確率の加法定理を利用して、確率の計算ができる	A
	いろいろな確率	条件つき確率	条件つき確率の定義を理解できる	B
		確率の乗法定理	確率の乗法定理を利用して、確率の計算ができる	B
		事象の独立	事象の独立の概念を理解できる	A
		反復試行	反復試行を理解できる	A
		反復試行の確率	反復試行の確率の計算ができる	A
データの整理	1次元のデータ	度数分布	データ全体のようにすを度数分布で表現することができる	A
		代表値	平均, 中央値, 最頻値を求めることができる	A
		平均の性質	平均の性質を理解できる	B
		散布度	範囲, 分散, 標準偏差を求めることができる	A
		分散と標準偏差の性質	分散と標準偏差の性質を理解できる	B
	2次元のデータ	相関	散布図から相関関係を理解できる	A
		共分散	共分散を求めることができる	A
		相関係数	相関係数を求めることができる	A
		回帰直線	y の x への回帰直線の方程式を求めることができる	B

分類	項目	細目	理解すべき内容	区分
確率分布	確率変数と確率分布	確率変数	確率変数の概念を理解できる	A
		確率分布	確率分布を理解できる	A
		平均	確率分布の平均を求めることができる	A
		平均の性質	平均の性質が理解できる	B
		分散	確率分布の分散を求めることができる	A
		分散の性質	分散の性質が理解できる	B
		標準化	確率変数の標準化を理解できる	B
		二項分布	二項分布の確率の計算ができる	A
		二項分布の平均と分散	二項分布の平均と分散を求めることができる	A
		連続型確率変数	連続型確率変数の概念を理解できる	A
		確率密度関数	確率密度関数の概念を理解できる	A
		累積分布関数	累積分布関数を理解できる	B
		連続型確率変数の平均と分散	連続型確率変数の平均と分散の定義を理解できる	A
		平均と分散の性質	平均と分散の性質を理解できる	A
		正規分布	正規分布の定義を理解できる	A
		正規分布の平均と分散	正規分布の平均と分散を求めることができる	C
		標準正規分布	標準正規分布の確率を求めることができる	A
正規分布の標準化	正規分布表を利用して正規分布の確率を求めることができる	A		

分類	項目	細目	理解すべき内容	区分
実技 (選択制)	バドミントン (女子は1・2 年次で履修、男 子は教材とし て初履修)	グリップ	・ウエスタングリップ(横握り)、イースタングリップ(縦握り)	A
		正しいスタンス	・待機のスタンス ・フォアハンドとバックハンドストロークのスタンス	A
		・グリップの定着	・ローショットサービス ・ヘアピン ・ハイロングサービス ・クリアー	B
		・スマッシュ ・ドロップ ・ドライブ ・バックハンドのクリアー	B	
		・フットワーク	・ステップ走法(比較的遠い距離と近い距離を移動)	A
		・フットワークとストローク の連携	・クリアーとドロップショットの応酬 ・クリアーとスマッシュの応酬	B
		競技の方法	・ドライブの応酬 ・クリアーの応酬 ・ヘアピンの応酬	B
		・ゲーム	・ゲームの開始 ・スコアリング ・チェンジエンド	A
		・シングルスとダブルス	・シングルス ・ダブルス	B
・ゲーム	・シングルス ・ダブルス	B		
・ゲーム	・シングルス ・ダブルス	A		
バレーボール	チームや個人の現状 確認	・メンバーの技能レベルを理解し基本技能のレベルアップ練習 のメニューを考える	A	
	基本技能の習熟 集団技能	・メンバーの身体的特性とプレイの特徴を互いに理解する	A	
	・パス、サービス、スパイクの個人技能の向上	A		
	・連続、予測してのレシーブ(カバープレイも加えて)	A		
	バックのレシーブ練習	フォワードのレシーブ練習		
	サブレシーブの練習	トスと攻撃		
	高いトスからのアタック	平行トスからのアタック		
	アタックフォーメーションの 理解と挑戦	・速攻(ABCDクイック)	C	
	3・3フォーメーション	B		
2・2・2フォーメーション	B			
2・1・3フォーメーション	B			
ゲーム	・メンバーの個性と特徴を考慮して、それぞれのポジション で要求される(セッター、アタッカー、レシーブなど)適性を備えた 人員配置で1・5Wフォーメーションによるゲームを行う	B		
・審判	A			
ソフトテニス	基本技能の復習	・サービス(フットサービス、アンダーサービス)の習熟	A	
	・グラントストローク(フォアハンドのアンダーストローク、バックハンドのアンダー ストローク)の習熟	A		
	・フォアハンドボレー	A		
	技能学習	・フラットサービス	B	
	・リバースサービス	B		
	・スライスサービス	B		
	・フォアハンドのサイドストローク	A		
	・フォアハンドのトップストローク	A		
	・バックハンドボレー	A		
	練習	・ネット打ち	A	
	・3コース(正クロス、ミドル、逆クロス)での乱打	A		
	・コース打ち分け乱打	B		
	・サービスの練習(ファーストサービスとセカンドサービスの打ち分け)	A		
	ゲーム	・雁行陣と平行陣の戦法を理解して作戦を立てる	B	
	・審判	A		

分類	項目	細目	理解すべき内容	区分
実技 (選択制)	サッカー	基礎技術	・キック:インステップキック	A
			:インサイドキック、アウトサイドキック	A
			:インフロントキック、アウトフロントキック	A
			・トラッピング:浮き球をインサイドでトラップ	A
			:ゴロのボールをインサイドでトラップ	A
			:ゴロのボールをアウトサイドでトラップ	A
			:バウンドした球をインサイドでトラップ	A
			:浮き球をアウトサイドでトラップ	B
			:浮き球をインステップでトラップ	B
			:浮き球を胸でトラップ	A
			・ドリブル:スピード・ドリブル	A
			:インサイドを使ったドリブル	A
			:アウトサイドを使ったドリブル	B
			・ヘディング:スタンディングヘッド	A
			:正面のジャンピングヘッド	B
		・タックル:スタンディングタックル	A	
		:インサイドでのスライディングタックル	B	
		シュート練習	・ゴール前からのゴロのボールをインステップキックでシュート	A
			・ゴール方向に前に転がっていくボールのシュート	A
			・ゴール前にサビスされるゴロや浮き球をワントラップ & シュート	A
			・コンビネーションシュート:3人一組でパスをつなぎながらペナルティエリア近くからシュート	A
			・センターリングからのシュート:トラップ & シュート	A
		:ヘディング	B	
		パス	・ドリブルシュート:ジグザグドリブル(インサイド、アウトサイド)	A
			・パスアットゴール:ワントラップして	A
			:ダイレクトで	B
			:トラップではずして	A
:パスアットゴールと壁パス	B			
:インフロントキックのパス	B			
フォーメーションシステム	・4-3-3システムの理解:ポジションの呼称(DF:サイドフルバック	A		
	・ストッパー・スウィーパー、MF:ディフェンシブハーフ・ゲームメーカー・オフェンシブハーフ、FW:センターフォワード、ウイングフォワード)			
	:ポジションごとの役割	A		
セップレー	:基本的な守り方(マンツーマンとゾーンの併用)	A		
	:マークの3原則の理解	A		
	・コーナーキック:攻め(ニアとファーへの飛び込みとタイミング)	B		
ゲーム	:守り(ニアポスト、ファーポストの守りとGKとの連携)	C		
	・フリーキック:攻め(様々な形から)	B		
	:守り(相手に応じて)	C		
	・4-3-3システムフォーメーションに基づいたDF陣、MF陣、FW陣が一体となってゲームができる	B		
	・審判	A		

分類	項目	細目	理解すべき内容	区分
実技 (選択制)	バスケットボール	・チームや個人の現状把握	・メンバーの技能レベルを理解し基本技能のレベルアップ練習のメニューを考える	A
		・基礎技術（攻撃）の練習	・メンバーの身体的特性とプレイの特徴をお互いに理解する	A
			・ボールハンドリング	B
			・レイアップショット:ボールを持ってレイアップショット	A
			:静止したボールをつかみレイアップショット	A
			:ゴール下のボールをつかみレイアップショット	A
			:パスを受けてレイアップショット	A
			・リバウンドボールの練習:全員のリバウンド	A
			:2人のリバウンドの連続的な練習	A
			:1人のリバウンドショットの練習	A
			:2人のリバウンドショットの練習	A
			・相手の振りきり方とボールキャッチの練習	A
			:ボールを持たない身体の扱い方(フットワーク:ダッシュとジョギング、ダッシュとストップ、方向変換)	A
			:ボールの操作とボールを受けるための動き(フェイクとダッシュを利用して、スクリーンを利用して)	A
			・ドリブルの練習:ボールのつき方	A
			:ドリブル走	A
			:方向変換のドリブル	B
			・ヒールアップの練習:その場180度ターン :ドリブル後180度ターン	B
			・セットオフエンスの練習:パス(対列パス、サークルパス、トライアングルパス)	A
	:カットインプレーの練習(2人のプレーの練習)	B		
:スクリーンプレーの練習(インサイドスクリーン・ブロックプレー、アウトサイドスクリーン・ブロックプレー)	B			
:ポストまたはヒールアッププレーの練習(2人のプレー)	A			
:ゾーンディフェンスの攻撃(2対1、3対2)	B			
・速攻の練習:ランニングパス	A			
ゴルフ	ゴルフの全体的理解	・歴史	・ゴルフの生涯スポーツ適性についての理解	A
		・安全管理についての十分な理解	A	
		・ゴルフゲームの特性	・ゴルフコースの構成	A
		・エチケットとマナーの大切さ	A	
	クラブの種類と構造	・ヘッド	A	
		・クラブ:クラブヘッド、シャフト、グリップ	A	
		・ウッドクラブ(木製、メタル、カーボン):1番ウッドはドライバーと呼ばれる	A	
	アイアンの特徴	・アイアン:1番～9番、10番以上(ウェッジ)	A	
		・ロングアイアン:1,2,3,4 ・ミドルアイアン:5,6,7 ・ショートアイアン:8,9,10,	A	
	競技方法	・基準打数とスコアの数え方	A	
	クラブの握り方	・オーバーラッピンググリップ	・インターロッキンググリップ	A
	・正しい握り方の手順	・グリップエンドを半インチ残して	A	
足の位置	・スクエアスタンス	・スタンスの広さはドライバーで肩幅が基準	A	
	・右足のつま先はスクエアにセット	・スタンス幅でインクが決まる	A	
構え方	・ボールポジションはクラブによって異なる	A		
	・グリップポジションは左太ももの内側	B		
	・背筋を伸ばし腰から上体を前傾,体を飛球線と平行に	B		
	・常に同じ手順でアドレスする	C		

分類	項目	細目	理解すべき内容	区分		
実技 (選択制)	テニス	歴史と特性	・ 明治 11 年アメリカのリランドによって紹介され日本で誕生した軟式テニス(ソフトテニス)と共に普及発展	A		
		グリップ	・ ウェスタングリップ、セミウェスタングリップ、コンチネンタルグリップ、イースタングリップとその特徴を理解する	A		
		ラケットワーク	・ ラケットと足でボールを拾う ・ 定められた位置にボールを置く ・ ラケットでボールを拾う ・ ラケットでドリブルしながら走る	A A B		
		ボール回転の理解 ストローク	・ トップスピン、フラット、スライス ・ フォアハンド・バックハンドストローク ・ バックハンド・バックハンドストローク:片バックハンド(フラット～スピン系) :両手バックハンド(フラット～スピン系) :片手バックハンド(スライス系)	A A B C		
		サービス	・ ボールの持ち方 ・ アンダーハンドサービス ・ フォッシュサービス	A B		
		ネットプレイ	・ ボレー(フォアボレー、レディ・スタンス、バックボレー) ・ スマッシュ	A		
		ゲームとその進め方	・ シングルスとダブルス ・ ダブルスのポジションと役割(平行陣) ・ 審判法(トスのやり方、サービス、サービスの交代、サービスの順序、コートの交代、レシーブ、プレイヤーの失点) ・ ゲーム進行のコール	C A B A		
		AED使用法	AED	・ AEDとは ・ AEDの必要性と校内及び学校外に設置してある場所の確認 ・ AEDの使用方法	A A A	
		理論	生活と安全・健康	生活について	・ QOLの概念を理解し、QOLが向上するための健康観を考える ・ 『健康日本21』にみる生活改善と健康指標 ・ 健康増進法の基本的な考え方を理解する	A A A
				青少年期と事故	・ 青少年期の主要死因の実態を把握し、自分の生活の様子を振り返る	A
学校管理下でのスポーツ活動中の事故と対策	・ 学校管理下の死亡・障害の実態を把握し、安全管理の徹底や、予防に努める ・ 学校管理下での事故と対策		A B			
救急法の基礎知識	救命手当	・ 救命手当の必要性を理解し、救助者自身の身の安全を確保する、原則として薬品は使用しないことなどの、救助に際して必要な知識を把握する ・ 救命手当(心肺蘇生法)の正しい手順を理解する	A A			
	応急手当	・ 出血に対する止血法を理解する	A			
		・ 傷に対する手当	A			
		・ 脊椎損傷に対する手当	B			
	ケガの予防と再発防止	・ 骨折に対する手当	A			
・ 脱臼、腱断裂、捻挫に対する手当		A				
・ 突き指、打撲、肉離れに対する手当		A				
・ 基本的なテーピングの巻き方	B					
・ ストレッチングの行い方	A					
・ マッサージの行い方	A					

英語 I ・ II ・ III の基礎・基本

1. 細目数

		分類	A	B	C	細目数計
英語 I	1 学年 (2 単位)	4 技能	1 2	6	5	2 1
		文型	6	7	0	1 4
		文法	1 4	1 0	1 2	3 6
		その他	3	2	0	3
細目数計			3 5	2 5	1 7	7 6

			A	B	C	細目数計
英語 II	2 学年 (2 単位)	4 技能	1 4	6	2	2 1
		文型	9	4	0	1 4
		文法	2 2	1 1	3	3 6
		その他	3	2	0	3
細目数計			4 8	2 3	5	7 6

			A	B	C	細目数計
英語 III	3 学年 (2 単位)	4 技能	1 4	6	2	2 1
		文型	1 3	0	0	1 3
		文法	2 6	9	1	3 6
		その他	4	1	0	5
細目数計			5 7	1 6	3	7 6

2. 分類とそれらの内容

1 / 5

分類	項目	細目	理解すべき内容	I	II	III
4 技能	聞くこと	聞き取り	英語を聞いて、語句や文を正しく聞き取ることができる。	A	A	A
		必要な情報を探して聞き取る	英語を聞いて、必要な情報を得ることができる。	A	A	A
		概要を把握する	英語を聞いて、概要や要点をまとめることができる。	C	B	B
	読むこと	探し読み	まとまりのある文章を読んで、必要な情報を得ることができる。	A	A	A
		すくい読み	まとまりのある文章を読んで、概要や要点をまとめることができる。	A	A	A
		文の構造を捉えて読む	複雑な構造を持つ文や長い文の構造を捉え、文章全体の読みと解釈に役立てることができる。	A	A	A
		文同士の関係の把握	接続詞や語彙を手がかりに文同士の関係を捉えて読むことができる。	A	A	A
		段落読み	談話標識や段落同士の関係を手がかりに、まとまった量の文章の概要や要点を把握することができる。	B	B	B

分類	項目	細目	理解すべき内容	I	II	III	
4 技能	読むこと	音読と黙読	目的や状況に応じて、音読や黙読など、適切な読み方を行うことができる。	A	A	A	
		適切な読み方	目的や状況に応じて、速読や精読など、適切な読み方を行うことができる。	B	B	B	
		書き手の意向を理解する	まとまった量の文章を読んで、書き手の意向などを理解し、それについて自分の考えをまとめたり伝えたりできる。	B	B	B	
	話すこと	再生	英語を聞いたり読んだりして、その内容を正しく再生することができる。	A	A	A	
		応答	質問に英語で正しく答えることができる。	A	A	A	
		発表	聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、発表することができる。	C	B	A	
		話し合い	聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりできる。	C	B	A	
	書くこと	再生	英語を聞いて、語句や文を正しく書くことができる。	A	A	A	
		応答	質問の答えを書くことができる。	A	A	A	
		文の構造を捉えて書く	構造や文型に気をつけて文を書くことができる。	A	A	A	
		文同士の関係の把握	接続詞や語彙の繋がりを考慮して文章を書くことができる。	B	A	A	
		段落単位の文章を書く	談話標識や段落同士の関係に気をつけて文章を書くことができる。	C	C	C	
		まとめて書く	聞いたり読んだりしたことやそこから得た情報の、概要や要点をまとめて書くことができる。	B	A	A	
		考えを整理して書く	聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、整理して書くことができる。	C	C	C	
	文型	S+V	五文型	第1文型の基本的な構造と性質について理解し、適切に使用することができる。	A	A	A
			S+V+C	五文型	第2文型の基本的な構造と性質について理解し、適切に使用することができる。	A	A
		S+V+C	V=be 以外の動詞 C=現在/過去分詞	V=be 動詞以外の場合、C=現在分詞・過去分詞の場合の第3文型の用法について理解し、適切に使用することができる。	B	A	A
S+be+that/whether/why 節			C=節の場合の第3文型の用法について理解し、正しく使用することができる。	B	B	A	
S+seem 等+to 不定詞			V=seem 等、様態を表す動詞の場合の第3文型の用法について理解し、正しく使用することができる。	B	B	A	
S+V+O		五文型	第3文型の基本的な構造と性質について理解し、適切に使用することができる。	A	A	A	
		O=if/whether 節	O=if/whether 節の場合の第3文型の用法について理解し、正しく使用することができる。	B	B	A	
S+V+IO+DO		五文型	第4文型の基本的な構造と性質について理解し、適切に使用することができる。	A	A	A	
		DO=if/whether 節 または DO=疑問詞節	O=if/whether 節・疑問詞節の場合の第4文型の用法について理解し、正しく使用することができる。	B	B	A	

分類	項目	細目	理解すべき内容	I	II	III
文型	S+V+O+C	五文型	第5文型の基本的な構造と性質について理解し、適切に使用することができる。	A	A	A
		C=現在/過去分詞	C=現在分詞・過去分詞の場合の第4文型の用法について理解し、適切に使用することができる。	A	A	A
		C=原形不定詞	C=原形不定詞の場合の第4文型の用法について理解し、正しく使用することができる。	B	A	A
	意味上の主語	it	状況の it や意味上の主語について理解することができる。	B	A	A
文法	受動態	受動態と能動態	受動態と能動態の関係について理解し、適切に使用することができる。	A	A	A
		助動詞と受動態	助動詞と共起した場合の受動態の構造や意味について理解し、正しく使用することができる。	A	A	A
		進行形の受動態	進行形の受動態の構造、意味、用法について理解し、正しく使用することができる。	A	A	A
		受動態と時制	過去完了や未来表現での受動態の構造、意味、用法について理解し、正しく使用することができる。	B	A	A
	不定詞	副詞的用法	目的、感情の原因・理由、程度、結果という用法の違いについて理解し、状況に応じて適切に使い分けることができる。	A	A	A
		完了不定詞	完了の have が不定詞として使用される場合についてその構造や意味を理解し、正しく使用することができる。	B	B	B
	動名詞	動名詞	動名詞の名詞としての役割について理解し、主語、動詞の目的語、前置詞の後に出現する動名詞の意味と用法について正しく使用することができる。	A	A	A
	動名詞と不定詞	動名詞と不定詞	動名詞と不定詞が包含する概念や用法の違いについて理解し、適切に使い分けることができる。	B	A	A
	分詞の形容詞的用法	現在分詞	現在分詞の持つ能動的な意味と用法について理解し、適切に使用することができる。	A	A	A
		過去分詞	過去分詞の持つ受動的な意味と用法について理解し、適切に使用することができる。	A	A	A
	分詞構文	現在分詞	分詞構文(現在分詞)の意味について理解すると共に、付帯状況・時・理由・譲歩という4つの用法について理解し適切に使い分けることができる。	C	A	A
		過去分詞	分詞構文(過去分詞)の意味について理解すると共に、付帯状況・時・理由・譲歩という4つの用法について理解し適切に使い分けることができる。	C	A	A
		独立分詞構文	独立分詞構文の構造と用法について理解し、正しく使用することができる。	C	B	B

分類	項目	細目	理解すべき内容	I	II	III
文法	接続詞	節を導く接続詞	名詞節・副詞節を導く接続詞の意味や用法について理解し、文脈に応じて適切に使用することができる。	A	A	A
		that	主語・補語・目的語それぞれの用法について理解し、正しく使用することができる。	A	A	A
		if/whether, because…	because 以下が主語・補語・目的語であるそれぞれの用法について理解し、正しく使用することができる。	B	B	A
	関係代名詞	制限的用法	主格・目的格・所有格の構造と用法について理解し、正しく使用することができる。	A	A	A
		関係代名詞 what	先行詞がない関係代名詞の用法について理解し、正しく使用することができる。	A	A	A
		非制限的用法	関係代名詞の非制限用法について理解し、正しく使用することができる。	C	B	A
		前置詞 + 関係代名詞	前置詞を伴う関係代名詞の構造と用法について理解し、正しく使用することができる。	B	A	A
		前文を受ける関係代名詞	文同士の関係と関係代名詞の役割について理解し、適切に使用することができる。	C	B	B
	関係副詞	制限的用法	where (場所)・when (時)の制限的用法について理解し、正しく使用することができる。	A	A	A
		非制限的用法	where (場所)・when (時)の非制限的用法について理解し、正しく使用することができる。	C	B	A
	時制	完了	過去/現在/未来の完了についてその構造と意味、使用される状況の違いについて理解し、正しく且つ適切に使用することができる。	A	A	A
		完了進行	現在/過去/未来の完了進行形の構造と意味、使用される状況の違いについて理解し、正しく適切に使用することができる。	B	A	A
		仮定法	仮定法・仮定法過去/過去完了についてその構造と意味、使用される状況の違いについて理解し、正しく適切に使用することができる。	B	A	A
		助動詞の過去形	助動詞の過去形の持つ丁寧さ/自信のなさや仮定的な意味について理解し、適切に使用することができる。	B	B	B
		助動詞を使った過去表現	助動詞の過去形 + 完了形の構造と意味について理解し、正しく使用することができる。	B	A	A
時制の一致	時制の一致	文脈や文内で用いられる時制の一致の構造について理解することができる。	B	B	A	
比較	原級, 比較級, 最上級の対応	原級/比較級/最上級を用いた比較表現について理解し、正しく使用することができる。	A	A	A	
	原級を用いた比較表現・比較級を用いた最上表現	原級を用いた比較級や比較級を用いた最上級の表現について理解し、正しく使用することができる。	C	B	B	

分類	項目	細目	理解すべき内容	I	II	III
文法	話法	直接・間接話法	話法の違いについて理解し、適切且つ効果的に使用することができる。	C	C	B
		否定	否定の範囲	否定辞が否定する範囲について理解し、正しく使用することができる。	C	B
	強調構文	強調構文	強調構文の構造や効果について理解することができる。	C	C	B
	無生物主語	無生物主語	無生物主語を持つ文の構造や考え方について理解することができる。	C	B	B
		倒置	倒置	倒置が起こる場合や用法、意味について理解することができる。	C	C
その他	辞書の使い方	辞書の使い方	辞書の特徴と使用方法について理解し、学習に役立てることができる。	A	A	A
	発音記号	発音記号	IPA記号について理解し、読んだり書いたりできる。	B	B	B
	筆記体学習	筆記体学習	アルファベットの筆記体を読んだり書いたりできる。	B	B	A

英文法 I・II・III の基礎・基本

1. 細目数

		分類	A	B	C	細目数計
英文法 I	1 年生 (1 単位)	基礎	15	7	30	52
		発展	0	1	15	16
細目数計			15	8	45	68

		分類	A	B	C	細目数計
英文法 II	2 年生 (2 単位)	基礎	19	33	0	52
		発展	0	16	0	16
細目数計			19	49	0	68

		分類	A	B	C	細目数計
英文法 III	3 年生 (2 単位)	基礎	52	0	0	52
		発展	16	0	0	16
細目数計			68	0	0	68

2. 分類とそれらの内容

1 / 4

分類	項目	細目	理解すべき内容	区分 英文 I	区分 英文 II	区分 英文 III	
基礎	5 文型	SV, SVC, SVO, SV00, SVOC	5 文型の特徴を理解し、正しく分類することができる。	A	A	A	
	文の種類	平叙/疑問/命令/ 感嘆	平叙/疑問/命令/感嘆の各文の特徴を理解し、文を作ることができる。	A	A	A	
	動詞	動詞活用	動詞を正しく活用することができる。	A	A	A	
	時制	現在	現在	現在時制の特徴を理解し、文を作ることができる。	A	A	A
			過去	過去時制の特徴を理解し、文を作ることができる。	A	A	A
			未来	未来時制の特徴を理解し、文を作ることができる。	A	A	A
	進行形	現在	現在	現在進行形の特徴を理解し、文を作ることができる。	A	A	A
			過去	過去進行形の特徴を理解し、文を作ることができる。	A	A	A
			未来	未来進行形の特徴を理解し、文を作ることができる。	A	A	A
	完了形	現在	現在	現在完了形の特徴を理解し、文を作ることができる。	C	B	A
			過去	過去完了形の特徴を理解し、文を作ることができる。	C	B	A
			未来	未来完了形の特徴を理解し、文を作ることができる。	C	B	A

分類	項目	細目	理解すべき内容	区分 英文 I	区分 英文 II	区分 英文 III
基礎	完了 進行形	現在	現在完了進行形の特徴を理解し、文を作ることができる。	C	B	A
		過去	過去完了進行形の特徴を理解し、文を作ることができる。	C	B	A
		未来	未来完了進行形の特徴を理解し、文を作ることができる。	C	B	A
	助動詞	助動詞としての be, have, do	助動詞としてのbe, have, doを理解し、使用することができる。	A	A	A
		can / could, may / might, must, will, would, shall, should	各助動詞の特徴を理解し、正しく使用することができる。	B	A	A
		ought to, used to, need, had better, dare	各助動詞の特徴を理解し、正しく使用することができる。	C	B	A
		助動詞+完了形	助動詞+完了形の用法を理解し、正しく使用することができる。	C	B	A
		受動態	平叙/疑問/否定	受動態の平叙文/疑問文/否定文を作ることができる。	A	A
		by動作主の省略	by動作主の省略を理解する。	A	A	A
		群動詞・by以外	群動詞やby以外の前置詞を正しく使用することができる。	C	B	A
		第4文型	第4文型を受動態にすることができる。	C	B	A
		助動詞	助動詞を含む構文を受動態にすることができる。	C	B	A
		進行形・完了形	進行形や完了形の構文を受動態にすることができる。	C	B	A
	不定詞	基本3用法	不定詞の基本的な3つの用法を理解し、分類できる。	A	A	A
		意味上の主語	不定詞の意味上の主語を理解する。	C	B	A
		原形不定詞	原形不定詞の構文を作ることができる。	C	B	A
		不定詞の表す時	不定詞の表す「時」を理解する。	C	B	A
		受動態・進行形・ 否定	受動態、進行形、否定を含む不定詞を理解し、作ることができる。	C	B	A
		疑問詞+ to do	疑問詞+ to doの用法を理解し、文を作ることができる。	C	B	A
		be + to do	be + to doの用法を理解し、文を作ることができる。	C	B	A
	分詞	形容詞的用法(限 定・叙述)	分詞の形容詞的用法(限定・叙述)を理解し、文を作ることができる。	C	B	A
		分詞構文	分詞構文の用法を理解し、文を作ることができる。	C	B	A
		独立分詞構文	独立分詞構文の用法を理解し、文を作ることができる。	C	B	A

分類	項目	細目	理解すべき内容	区分英文 I	区分英文 II	区分英文 III
基礎	動名詞	基本用法	動名詞の基本的な用法を理解し、文を作ることができる。	A	A	A
		意味上の主語	動名詞の意味上の主語を理解する。	C	B	A
		受動態・否定	受動態、否定を含む動名詞を理解し、文を作ることができる。	C	B	A
		不定詞と動名詞	不定詞と動名詞の用法を理解する。	C	B	A
	比較	基本用法	原級/比較級/最上級の用法を理解し、文を作ることができる。	A	A	A
		重要構文	比較に関する重要構文を理解し、使用することができる。	C	B	A
	関係詞	関係代名詞の基本用法	関係代名詞 (who, whose, whom, which, that) の用法を理解し、使用することができる。	A	A	A
		関係代名詞what	関係代名詞whatの用法を理解し、使用することができる。	B	A	A
		前置詞+関係代名詞	前置詞+関係代名詞の文を作ることができる。	B	A	A
		関係副詞	関係副詞 (where, when, how, why) の用法を理解し、使用することができる。	C	B	A
		制限・非制限用法	関係代名詞の制限・非制限用法を理解する。	C	B	A
		関係詞の省略	先行詞や関係詞の省略を理解する。	C	B	A
		複合関係代名詞・複合関係副詞	複合関係代名詞 (whoever, whatever, whichever) と複合関係副詞 (wherever, whenever) の用法を理解し、使用することができる。	C	B	A
	仮定法	仮定法現在	仮定法現在の用法を理解し、文を作ることができる。	C	B	A
		仮定法過去	仮定法過去の用法を理解し、文を作ることができる。	C	B	A
		仮定法過去完了	仮定法過去完了の用法を理解し、文を作ることができる。	C	B	A
		慣用表現	仮定法の慣用表現を理解し、使用することができる。	C	B	A

分類	項目	細目	理解すべき内容	区分英文 I	区分英文 II	区分英文 III
発展	句と節	句と節	句と節を理解し、両者を正しく書き換えることができる。	C	B	A
	接続詞	等位接続詞	and, but, or, so 等の用法を理解し、正しく使用することができる。	C	B	A
		従属接続詞	時、原因・理由、条件、目的等の接続詞を理解し、正しく使用することができる。	C	B	A
	前置詞	前置詞	前置詞の意味を理解し、使い分けることができる。	C	B	A
	冠詞	冠詞	冠詞の意味を理解し、使い分けることができる。	C	B	A
	代名詞	代名詞	代名詞の意味を理解し、使い分けることができる。	C	B	A
	名詞	名詞	名詞の用法を理解し、正しく使用することができる。	C	B	A
	形容詞	形容詞	形容詞の用法を理解し、正しく使用することができる。	C	B	A
	副詞	副詞	副詞の用法を理解し、正しく使用することができる。	C	B	A
	数の一致	数の一致	数の一致を理解し、正しい文を作ることができる。	C	B	A
	同格	同格	同格の用法を理解し、正しく使用することができる。	C	B	A
	否定	否定	否定の用法を理解し、正しく使用することができる。	C	B	A
	無生物主語	無生物主語	無生物主をの構文を理解し、正しい文を作ることができる。	C	B	A
	話法	話法	話法の用法を理解し、正しく話法の転換をすることができる。	C	B	A
	倒置	倒置	倒置の用法を理解し、正しい文を作ることができる。	C	B	A
	強調	強調	強調の用法を理解し、正しい文を作ることができる。	C	B	A
	同格	同格	同格の用法を理解し、正しく使用することができる。	C	B	A
	否定	否定	否定の用法を理解し、正しく使用することができる。	C	B	A
	無生物主語	無生物主語	無生物主をの構文を理解し、正しい文を作ることができる。	C	B	A
	話法	話法	話法の用法を理解し、正しく話法の転換をすることができる。	C	B	A
倒置	倒置	倒置の用法を理解し、正しい文を作ることができる。	C	B	A	
強調	強調	強調の用法を理解し、正しい文を作ることができる。	C	B	A	

英語演習 I II III の基礎・基本

1. 細目数

	分類	A	B	C	細目数計
英語演習 I [1 学年 (2 単位)]	発音	1 5	2	2	1 9
	Speech, Speaking	3	0	5	8
	Listening	1	3	7	1 1
	表現	1 4	0	9	2 3
細目数計		3 3	5	2 3	6 1

	分類	A	B	C	細目数計
英語演習 II [2 学年 (1 単位)]	発音	1 7	2	0	1 9
	Speech, Speaking	3	4	1	8
	Listening	4	1	6	1 1
	表現	1 4	9	0	2 3
細目数計		3 8	1 6	7	6 1

	分類	A	B	C	細目数計
英語演習 III [3 学年 (1 単位)]	発音	1 9	0	0	1 9
	Speech, Speaking	7	0	1	8
	Listening	5	2	4	1 1
	表現	2 3	0	0	2 3
細目数計		5 4	2	5	6 1

2. 分類とそれらの内容

分類	項目	細目	理解すべき内容	I	II	III
発音	ハミング発音 STEP1「音のエネルギー」	息の通り道	1-1「ダウン体操」1-2「深呼吸体操」 1-3「スプーン体操」1-4「のど仏体操」 ができる。	A	A	A
		息の出し方	2-1「息の移動体操」2-2「天井体操」 2-3「息の上昇体操」2-4「息の下降体操」 ができる。	A	A	A
	ハミング発音 STEP2「音のための 筋肉」	口のストレッチ	1-1「スマイル体操」1-2「ほっぺ体操」1-3「鼻 の下体操」1-4「大らっぱ体操」1-5「小らっぱ 体操」1-6「下くちびる体操」1-7「ねずみ体操」 1-8「あごがまん体操」ができる。	A	A	A
	ハミング発音 STEP2「音のための 筋肉」(つづき)	舌のストレッチ	2-1「アップ体操」2-2「パタパタ体操」 2-3「スライド体操」2-4「L体操」 2-5「舌先体操」2-6「R体操」 2-7「Rのハート体操」 2-8「ダウン→R体操」ができる。	A	A	A

分類	項目	細目	理解すべき内容	I	II	III
発音 (つづき)	ハミング発音 STEP3「音の形」		①基本のロアップ ②基本のロダウン ③らっぱのロアップ ④らっぱのロダウン ⑤あくびのロダウン ⑥三角のロダウン ⑦くちぶえのロダウン ⑧スマイルのロダ ウン ⑨ねずみのロダウン ⑩ハミングの ロダウン ができる。	A	A	A
	ハミング発音 STEP4「音のもと」	母音	母音 [a:] [ɔ:] [ɑ] [ʌ] [ə] [ɪ] [ʊ] [e] [i:] [æ] [aɪ] [aʊ] [ɔɪ] [eɪ] [ou] [u:] の発音 ができる。	A	A	A
		子音	子音 [h] [k] [g] [ŋ] [t] [d] [n] [θ] [ð] [ʃ] [ʒ] [ʒ] [ʒ] [s] [z] [f] [v] [p] [b] [m] ができる。	A	A	A
		Lの音	[ə:l]、母音+L、子音+L、先頭Lの発音 ができる。	A	A	A
		Rの音	[ə:r]、[ər]、アルファベットR、子音+R、 先頭Rの発音ができる。	A	A	A
	ハミング発音 STEP5「音の動き」	アルファベット (A～Z)	Aから順にZまで発音することができる。	A	A	A
	ハミング発音 STEP6「音の流れ」	文章	文章を、息を切らずに、一息で、一本の線で 結ばれるように発声できる。	B	A	A
	ハミング発音 STEP7「音の変化」	マーク1 (意味の薄い語が弱 い音となる時)	意味の薄い語を弱形で発音することができ る。	A	A	A
		マーク2 (消える音)	弱勢がおかれないhを消去することができ る。[ʌ] を発話で弱い箇所のときにアクセ ントのないあいまいな [ə] で発音する ことができる。スピードのついた発話で、 特に弱い音節の [ə] を消去することが できる。	A	A	A
		マーク2・2 (聞こえなくな る音)	[k] [g] [p] [b] [t] [d] を聞こえなくな るように発音できる。[t] [d] + [θ] [ð] のとき [t] [d] を聞こえなくなる ように発音できる。	A	A	A
		マーク3 (音の切れ目が なくなり、つな がる時)	隣り合う音をくっつけて別の音に変化でき る。子音と母音を区切らず連続させて 発音できる。舌の省エネができる。	A	A	A
		マーク2+マー ク3 (同じ音、似た音 が並んだ場合)	同じ音、似た音を統合させる感じで発音 できる。	A	A	A
		STEP8「音の強弱」 ハミング発音	文章	文章を、強弱をつけて発音することができ る。	B	A
	暗唱文		暗唱文を正しい発音で読むことができる。	C	B	A
応用文		どんな英文でも正しい発音で読むことが できる。	C	B	A	

分類	項目	細目	理解すべき内容	I	II	III
Speech, Speaking	Self Introduction (自己紹介)		英語で自己紹介できる。	A	A	A
	Dialogue (対話)		英語で相手と対話を発表できる。	A	A	A
	Recitation (暗唱)		英語で暗唱文を発表できる。	A	A	A
	Summary (要約)		英文を読んで自分の英語で要約ができる。	C	B	A
	Short Speech		題目を与えられて、短いスピーチを英語で発表できる。	C	B	A
	Following		英文を聞いて、原稿を見ないで後について読める。	C	B	A
	瞬間英作		日本文を見て即座に作文できる。	C	B	A
	応用		英語で言いたいことを話すことができる。	C	C	C
Listening (聴解力)	Dictation (空所補充)		テープを聞いて、空所を適語で埋めることができる。	A	A	A
	Comprehension (内容理解)	実用英語検定 準 2 級リスニング大問 1 (対話の補充)	準 2 級リスニング大問 1 レベルが理解できる。	B	A	A
		実用英語検定 準 2 級リスニング大問 2 (対話)	準 2 級リスニング大問 2 レベルが理解できる。	B	A	A
		実用英語検定 準 2 級リスニング大問 1 (対話の補充)	準 2 級リスニング大問 1 レベルが理解できる。	B	A	A
		実用英語検定 準 2 級リスニング大問 2 (対話)	準 2 級リスニング大問 2 レベルが理解できる。	B	A	A
		実用英語検定 準 2 級リスニング大問 3 (長文)	準 2 級リスニング大問 3 レベルが理解できる。	B	A	A
		実用英語検定 2 級リスニング大問 1 (対話)	2 級リスニング大問 1 レベルが理解できる。	C	C	B

分類	項目	細目	理解すべき内容	I	II	III
Listening (聴解力) (つづき)	Comprehension (内容理解)	実用英語検定 2級リスニング 大問2 (長文)	2級リスニング大問2レベルが理解できる。	C	C	B
		TOEIC Part I (絵を 見ての理解)	TOEIC リスニング Part I レベルが理解できる。	C	C	C
		TOEIC Part II (対話の補充)	TOEIC リスニング Part II レベルが理解できる。	C	C	C
		TOEIC Part III (対話)	TOEIC リスニング Part III レベルが理解できる。	C	C	C
		TOEIC Part IV (長文)	TOEIC リスニング Part IV レベルが理解できる。	C	C	C
		ドラマの英語	ドラマを鑑賞して、登場人物のせりふを理解できる。	C	B	A
表現	対話(基礎)	Survival English	Survival English(生活最低限の英語)が理解できる。	A	A	A
		教室英語	教室英語が理解できる。	A	A	A
		あいさつ	あいさつの表現が理解できる。	A	A	A
		自己紹介	自己紹介の表現が理解できる。	A	A	A
		家族・友人・ 趣味紹介	家族・友人・趣味紹介の表現が理解できる。	A	A	A
		故郷紹介	故郷紹介の表現が理解できる。	A	A	A
	対話(感情)	誘う・断る	誘う・断るの表現が理解できる。	A	A	A
		話題を変える 興味・関心	話題を変える・興味・関心の表現が理解できる。	A	A	A
		感謝	感謝の表現が理解できる。	A	A	A
		感情表現	感情表現の表現が理解できる。	A	A	A
	対話(場面)	聞き返す・尋 ねる・頼む	聞き返す・尋ねる・頼むの表現が理解できる。	A	A	A
		Directions	Directions の表現が理解できる。	A	A	A
		Shopping	Shopping の表現が理解できる。	A	A	A
		Airport -Departure	Airport-Departure の表現が理解できる。	C	B	A
		Airport -Arrival	Airport-Arrival の表現が理解できる。	C	B	A
		Telephone	Telephone の表現が理解できる。	C	B	A
		Post Office	Post Office の表現が理解できる。	C	B	A
		Restaurant	Restaurant の表現が理解できる。	C	B	A
		Hospital	Hospital の表現が理解できる。	C	B	A
		Bank	Bank の表現が理解できる。	C	B	A
		Hotel	Hotel の表現が理解できる。	C	B	A
Reporting an Emergency	Reporting an Emergency の表現が理解できる。	C	B	A		